

マンサク

CAST

久光 由喜子

満作荘に入居予定の女子大生

清水

満作荘の持ち主。ルームシェアを呼びかけている。

森本 優香

下宿中の女子大生。

風間 かりん

下宿中の女子大生。

土屋 誠司

下宿中の浪人生。

日下部 勇

家出中の青年。

アール

放浪癖のある住人。ミュージシャンらしい。

満作荘の居間。

奥から清水と久光がはいってくる。

清水　で、ここが共有スペース。

久光　居間ですか。

清水　そ。一応キッチンとかテレビとか備え付けてあるし、団欒の場になればいいかな
って感じで。まあしばらくはおっさんと二人できまじいだらうけど。僕、基本自
室にひきこもっとくし。

久光　そんなそんな！気は遣わないで下さい。

清水　そう？

久光　はい、元々清水さんのおうちですし。

清水　じゃあ夜はたっぷり酒盛…

久光　私がひきこもりますんで

清水　あ、はい。

しばし無言できよろきよろんなものを眺める久光。
そのうち柵とか開け始める。

清水　ゆつきー！ゆつきー！！あの、そこはちよつと…

久光　え

清水　あ、いや、ほら、まだ一応俺の生活空間だから。

久光　そうでしたね！す、すいません！

清水　意外にぐいぐいくる人なんだね…ま、入居する頃にはちゃんと片しとくから。と
りあえずこんなもんだわ。どう？気に入ってくれた？マイ・スイートホーム。

久光　はい、かなり。

清水　それはなにより。じゃあまあ詳しく話していこうか。

久光　はい。

清水　そっち座って。

こたつをはさんで向かい合わせに座る二人。

清水　まず入居時期だけど、今月末でよかった？

久光　はい。

清水　具体的に何日がいいとかってもうわかる？

久光　引越に2日はほしいんで、28日・29日あたりに片付けようかなと思ってます。

清水　オッケー。さつき説明した通りゆつきーのスペースはさつきの…

久光　あのすいません。

清水　ん？

久光　さつきから…その、ゆつきー、ってなんですか

清水　え？ゆつきーでしょ、由喜子ちゃんだから、ゆつきー。

久光　それはわかりますけど

清水　うん、じゃあ話進めるね。ゆつきーの荷物は…

久光　いやだからあの

清水　なに？

久光　私たち…その…今日、初対面ですよね。

清水 　　そう…だよね？
久光 　　それで“ゆつきー”はちよつと…
清水 　　あ、嫌だった？
久光 　　嫌っていうか…いきなりすごい近距離だなあと。
清水 　　そうかい？僕的にはほんの一步の歩み寄りなんだけど
久光 　　だいぶ大きな一步ですね。
清水 　　いきなり引き出しあける君に言われたくもないけどなあ
久光 　　とりあえずしばらくは名前で…。
清水 　　そう？じゃあ…久光さん…えと…なんの話してたっけ？
久光 　　えーとスペースがなんとか…
清水 　　あ、そうだ個人スペースは基本さつき見せた個室になります。ある程度あそこに
取まるくらいの荷物にしてくれると助かるかな。あと、基本的な炊事用具とかは
一応そろってるけど、そういうの共有したくないタイプ？
久光 　　いや、フライパンとかくらは大丈夫です。
清水 　　僕は全然気にしないからその辺。まあ自分専用のが欲しい物に関しては用意し
いて。マイフライパンとかマイカップとかマイトイレとか
久光 　　え
清水 　　うん？
久光 　　え、なんですかマイトイレって
清水 　　ああ、いたんだよ昔の住人に。
久光 　　マイトイレもつてた人がですか？
清水 　　恐ろしく潔癖症というか神経質なやつでね。携帯トイレ買い込んで自室で用を足
してたらしい
久光 　　そんなに嫌ならシェアなんてしなればいいのに
清水 　　よくおんなじこと言われてたよそいつ。まあ赤の他人と住む訳だからある程度の
妥協は必要だよな。あ、でもどうしてもきついことあったらちゃんといいなよ？
久光 　　お互いにその辺は遠慮なくつてことだ。
清水 　　はい。
久光 　　あとは…
清水 　　あの、家賃のことなんですけど
久光 　　ああ、はいはい。募集要項の通り、10000円＋光熱費はその都度割り勘で。
清水 　　ほんとにそれだけで大丈夫なんですか？
久光 　　うん。…あ、もしかして詐欺かなんかだと思ってる？
清水 　　いやそんなことはないですけど…値段みただけだともっとぼろぼろとかなのかな
清水 　　って思ってたから…
久光 　　ふふん。こう見えても割と綺麗好きなんです僕。
清水 　　なんでこんなに安いですか？
久光 　　うーん…駅から遠いから？
清水 　　20分も歩けばつくじやないですか
久光 　　あとはスーパードかあんまりないからかな。まあそこが気にならないならおおむ
ね快適だと思うんだけどね。最近は都会育ちが多いからかなかな人が定着しな
いんだよな。
久光 　　みんな贅沢ですね
清水 　　ほんとだよな。田舎には田舎のよさがあるっていうのに！今は殺風景だけどき、
ちやうどゆつき…久光さんが越してくる頃には花もいっぱい咲いてすごい綺麗に

なってると思うよ

久光 表の木も花、咲くんですか？

清水 ああ、あれはね、もう終わったよ。

久光 終わった？死んでるってことですか？

清水 ううん、見頃が終わったって事。

久光 ええ？でもまだ3月ですよ？

清水 あれはね、マンサクって言って1月から2月にかけて花が咲く木なんだよ。

久光 ああ、だからここ「満作荘」っていうんですか

清水 そのとーり！年が明けて「まず咲く」から“まず咲く”、“まんず咲く”、“マンサク”って名前になったんだってさ

久光 詳しいんですね

清水 植えた子の受け売りだけだね。ってわけでもう今年は散っちゃったけど、来年以降楽しみにしているといいよ。黄色いびらびらーっとしたのが咲くから。

久光 びらびらー！？ええ！？た、楽しみななあ…

清水 そりゃあ綺麗だよー。錦糸卵が木にまとわりついている様な…いや、むしろ黄色

久光 い無数の触手がうのようによーっと…

久光 …トイレお借りしていいですか

清水 ああ、どうぞ。場所覚えてる？

久光 はい。

トイレに行く久光

残された清水。久光が言ったのをみはからって

清水 まだ…言わない方がいいよなあ…

トイレの方から轟音。

久光の悲鳴

清水 お！？ど、どした！？ゆっきー？ゆっきー！？

慌ててでていく清水

場面転換

舞台はおなじく満作荘の居間。

しかし少しおかれている家具などが違う。

1月のカレンダーがかかっている。

こたつには編み物をしている森本と、テレビを見て爆笑している風間

風間 優香ってお笑いとか興味ないん？

森本 うーん、あんまりないかも

風間 ほんまに？大阪の人間としてあかんやろ

森本 いや私、兵庫やから

風間 あ、そうか。…ていうかなんで県内やのにわざわざシエアしてんの？

森本 なんとなく？一人暮らししてみたいけど、一人じゃ危ないしーって親に反対され

てた時に親戚がシエアはじめるっていいだしたから…？

風間 ふーん

しばし沈黙

風間 え？親戚？

森本 うん。親戚。

風間 誰が？

森本 誰って…この管理人？

風間 アール？

森本 うん。

風間 えー！！

森本 あれ？言ってなかったっけか？

風間 言ってへん言ってへん言ってへん！！わーびつくりした！なんで隠してたんよ！

森本 いや、別に隠してた訳じゃないけど。言い忘れ？

風間 え、他の人は知ってるん？

森本 ー、たぶん？

風間 えー。ひどい…

森本 ごめんごめん。ほんまに悪気はないねん。

風間 全然似てへんな。

森本 まあつながらてるのかわかんないくらい遠縁だしね。

風間 なんか…ドラマみたいやな

森本 なが？

風間 いや、遠い親戚の男の子とルームシエアとか。

森本 男の子で。そこそこ年はなれてるし。

風間 ひとつ屋根の下で恋に落ちるとか！

森本 ないない。

風間 あんちゃーん！

森本 なにそれ

風間 げ！知らんの？「ひとつ屋根の下」

森本 小説？

風間 ちがうちがう！ドラマやって！

森本 ああ。
風間 お笑いもドラマも知らんとか。何みてんのいつも
森本 テレビ自体そんなにみいひんよね
風間 今、観てるやん
森本 かりんが観てるんやん
風間 一緒に観ようやー！そんなんやったら時代の流れにおいてかれるで！
森本 別にいいよ
風間 あかんあかん。とりあえず福山くらいは知つとかんと！「あんちゃん！」はい！
森本 やらへんよ
風間 できるってできるって
森本 いやできるとかじゃなくて
風間 あーんちゃん！

土屋がドアを開ける

土屋 静かにして下さい！！！！
風間 びっくりしたー！
土屋 うるさいんですよ「わんちゃん」「わんちゃん」って！
風間 「あんちゃん」！！
土屋 どっちでもいいですけど！静かにして下さいって何回いったら分かるんですか！
風間 そんなにうるさくしてへんやん
土屋 してます！うるさいんです！響くんです！！
森本 あー土屋君、ごめんな。静かにするから
土屋 頼みますよ！今年こそ勝負の年なんですから！！

ドアを勢いよく閉めてでていく土屋

風間 あいつが一番うるさいよね

ドアが開く

土屋 あと、風間さん！
風間 なによ！？
土屋 洗面台を使った後は髪の毛、きちんととっておいてくださいって何回いったらわかるんですか？
風間 はあ？私ちやうやろ
土屋 風間さんですよ！あの長さの髪の毛は風間さん以外考えられないんですよ。
風間 優香のかもしれないやん
土屋 髪色が風間さんでした。
風間 ほんまかいな…
土屋 シンクの上まりの原因第1位は髪の毛なんです。つまったら水も流れなくなるし汚いゴミやヘドロだつて…
風間 ああもうわかつてるって。
土屋 僕もう今年に入ってからこれいうの10回目ですからね。今回は僕が掃除しときましたけど、今度からは自分でちゃんとやってもらいますからね！

風間 はいはい。わかったわかった：

ぶつぶついいながら去る土屋

風間 あーもううつつとうしい：

森本 仕方ないやん。受験シーズンまったただなかやし

風間 こないだおわったんちやうん

森本 あれはセンターやろ。本試験はここからやしな

風間 そういうもんなん？

森本 え、かりんセンター受けてへんの？

風間 うん、推薦やし

森本 ああー…そうか：

風間 え、優香もちやうん？

森本 私は一応国公立も受けたから

風間 へえー！そうなんやー！！

森本 気楽やったんやな

風間 うん、だからもう受験の重圧とか全然わからへん。

森本 まあ…わかってあげて…大抵の人間は通る道やねん…

風間 でも土屋の場合はいつもやん！いつもあんなやん！細かいことをねちねちう

森本 だうだ…あーもういや。ああいう潔癖っていうか神経質なの一番いや！

森本 その割に洗面台にたまったかりんの髪の毛は触れるんだよね…

風間 あーもう土屋のせいでネタ終わってるしー最悪。せつかくの休講を満喫しようとしてんのにー！！

寝転がる風間。

しばらくごろごろしたあと、ふと思立って

風間 よし。旅に出よう。

森本 行ってらっしゃい。

風間 なにいつてんの！優香も一緒やろ。

森本 え、嫌やし。編み物してんに

風間 こもってたら身体によくないわん！おでかけするわん！

森本 なんなんそのキヤラ。

風間 ほら、いくわん！いくわん！

森本 あーもうちよつと待って。片付けしちゃうから…

とかなんとか言いつつでていく二人。

しばらく誰もいない状態の居間。

そこにジュースとおかしをもって入ってくる日下部。

金髪にジャージといかにもヤンキーぽいいでたち。

テレビをつけてぼーっとする。

ドアがあき、顔をのぞかせる風間と森本

風間 おお、べっち。ちょっとでてくるわ
日下部 どこいくん
風間 ちよっと…旅にな…
日下部 はあ？
森本 ジャスコジャスコ。
日下部 ああ。
風間 じゃ、またな、若者よ！
日下部 あいあい。あ、コーラ買ってきて。
風間 コーラまだあるやん。
日下部 すぐ飲んでまうから、これくらい。
風間 べっち、ほんまにコーラ好きやな。あ、そうやそうや。土屋、今死ぬほどうつとうしいから、静かにしといた方がいいよ
日下部 うん？もう試験終わったんちゃうん？
風間 なんか練習やったらしい
森本 いや練習ではないけど
風間 とにかくまだ試験あるらしいで
日下部 なんやもう終わったと思つたのに…めんどいな…了解。
森本 じゃ、お留守番よろしく。
日下部 あいあいー。

でていく風間と森本。

しばらくぼーっとテレビをながめふりをする日下部
二人がいなくなつたのをちらつと確認した後、ポケットからノートとペンをとりだす。
しばらくなにやら書く日下部。
片手間におかしを食べているとこぼしてしまい、視線を下におろす。
粉がついたらしくこたつ蒲団をばたばたする。

日下部が下を向いている間に頭をおさえながらはいつてくる久光

久光 すいません…特になんもしてないんですけど上のペーパー置きの天板っていうんですか？あれが落ちてきて…

顔をあげる日下部

目が合う二人

一瞬の沈黙

久光 あ…れ？あの…、すみません。
日下部 ひやひやひやひやひや！
久光 ええええ！？え？あの…
日下部 うひやひやひやひやひや！
久光 え、なにこの人こわい。あ、あの、すみません、清水さんは…

ノートとペンをもってすくつとたちあがる日下部

びくっとなる久光

そのまま久光のいる方へすたすた歩いてくる日下部。
思わず避ける久光に見向きもせず、テレビの電源をきり、日下部、室外へでていく

久光 …え？なに？なに？？え、ていうか清水さんどこ？清水さーん。清水さーん！！

ドアがあく

土屋がたっている

土屋 だからうるさいって何回いったら…ってわーーーーっ！？？

久光 (つられて) わーーーーっ！！！！

土屋 え、お、おとおおおいでなすって！

久光 …は？

土屋 あ、ちがう…じゃなくてえーと、な、なにやつ！？

久光 はあ？？

土屋 あ、これもちがう。落ち着け。落ち着け誠司。こういう時はどうする。思い出す

んだ。そう、あれは一昨年 of センター。来る日も来る日も勉強に励みつづけ、迎えた受験当日。削りそろえた鉛筆があつという間に丸くなるほどに力をこめて回答を書き込み続けた本番は、自分でも改心のできだった。後は結果を待つのみ…いやもはや結果などわかつている。勝利の女神はすでに微笑みかけるどころか爆笑しているではないか。共に祝おう、今夜は祝杯だ。まだ18歳だけどいいじゃないかこんな夜くらい。今までまじめにやってきたのだから！神よ、この一度限りの不真面目を許したまえ。かんぱーい！ふふ、ふふ…ふははは、いいぞ。これが酒の味か！いいぞ、上出来だ。これが僕の勝利の味だ！…！！というところまで目が覚めたら試験開始時間を過ぎていたあの時のことを！まずは落ち着いて深呼吸だ。すってーはいてーすってーはいてーすってーはいてーすってーはいてー…

そのまま倒れる土屋

久光 …なんて壮絶な人なんだ…。

そこに帰ってくる日下部

日下部 なんやねん騒がしい…お？土屋？土屋？？

久光 わ、私何にもしてないんです！！

日下部 またいつもの病気か…

久光 病気？

日下部、そういうつつ机の上においてあるジュースをちよつとだけキャップにとる

日下部 寝耳にコーラ。(土屋の耳にキャップのジュースをかける)

土屋 ふっひよおおい！！ひよおい！！ひよおい！！

騒ぎながら入ったジュースを出そうと耳を下にしてけんけんする土屋

日下部 死ね。
土屋 死なん！だからそうやって起こすのはやめろって何回言ったらわかるんですか！
久光 何回もやってるんだ
土屋 そうですよ、もう今ので今年に入ってから7回目…ってわー！！
久光 わー！！
土屋 落ち着け、僕！そうあれは去年のセンター翌日…
日下部 うっさい！

日下部、土屋をたたく

土屋 痛い！

土屋、言つてすぐに日下部の影にかくれる。

日下部 なんやねんなんやねん

土屋 またですよ、また！！

日下部 ええ？

土屋 そ、そこ！そこ！！

日下部 どこ？

土屋 今、日下部さんの正面！！

日下部 ん？

日下部、久光の方をみる

土屋 そう、そこそこ

日下部 お前もうほんまいい加減にしとけよ

日下部、土屋を突き放してでていこうとする

土屋 ほんまなんですつてば！！お、おいてかないで…

日下部 お前も部屋戻ったらええやん

土屋 こ、腰が抜けて…

日下部、しばらく無表情で土屋をみてから微笑む。

土屋も笑つて日下部に起こしてもらおうと手をのばす。

日下部、笑顔のまま退場

土屋 げ、外道…

がつくりうなだれる土屋

久光 あ、あのー…

土屋 ひ、ひいっ！

久光 えーと…あの…

土屋 で、でていけ！

久光 へ？
土屋 ここ、お前、くるところ、違う！立ち去れ！
久光 なんて片言？
土屋 立ち去れ！立ち去れ！
久光 え、えーと…し、清水さんは…
土屋 ししみず？そんなやつは知らん！
久光 清水さんです、清水さん。この家主の…
土屋 家主？家主ってなんだー！！？
久光 いや、だからこのオーナーの…
土屋 お前にオーナーなんて呼ばれる筋合いはない！！
久光 だめだ…話にならない…
土屋 とにかくでてけ！さ…さっさと成仏しろ！！
久光 じよ、成仏？？

陽気な「サザエさん」の鼻歌が聞こえてくる。

風間 財布をつ♪忘れてっ♪陽気ーなかりーんさん！

風間、居間に入ってくる

風間 お、土屋。

土屋 か、風間さーん！！よ、よかった、ちよつとあの折り入ってお願いが…ぐえつ。

すがる土屋を踏んで二階へあがっていく風間

久光 恐ろしく立場ないな！

土屋 か、風間さーん…

久光 ね、ねえ…

土屋 迎えにきたのか？

久光 へ？

土屋 僕をお迎えにきたんだろ？

久光 いや、えーと…

土屋 いいんだいいんだ。風間さんにもかまってもらえない僕なんてもういなくなった

方がいんだ

久光 あの人のこと、好きなんですか？

土屋、すくつと立ち上がり

土屋 はあ？好きってなに？好きとか意味分かんないんですけど！好きやきですか？

久光 すきものですか？すきって言う方がすきなんじゃないんですかー！！！！

久光 うっわわかりやすい

土屋 いいから消えろよ！関わりろとすんなよユーレイのくせに！！

久光 ちよ、ちよつと！

土屋 なに！

久光 さつきから成仏とかユーレイとかどういいうことですか？

土屋 ど、どういいうつていわれてもユーレイはユーレイ…

風間、財布をもっておりてくる

風間 まーたユーレイ騒ぎ？

久光 また？

土屋 か、風間さーん！

土屋、抱きつこうとする

風間、見事に避けて

風間 で、今度はどこ？

土屋 そ、そこ！そこですよそこ！そのダンスのあたり

風間 ふーん。今度はどんな人？

土屋 女性です。たぶん年齢は30手前くらい…

久光 21！

土屋 あ、21らしいです。

風間 うっそ！私と同じ年じゃん！え、超テンションあがるんだけど！

土屋 上がらないで下さい！

久光 は、はい…（手を上げる）

土屋 はい、ユーレイ。

久光 さっきからユーレイユーレイって…私のことですか？

土屋 え？自覚してないの？

久光 いやいやいやしてないもなにも…

土屋 はいはいはい。そういうタイプか。

風間 え？どういうタイプ？

土屋 自分が幽霊だつて自覚してないみたいです。恐らくまだ新人ユーレイですね。

風間 えーそうなんー。なんかかわいそうー。

久光 は、はい！！はい！！（手をあげる）

土屋 はい、ユーレイ。

久光 さっきから気になってたんですけど、あなた以外の人には私は見えてないんです

か？

土屋 まあ、ユーレイだから…

風間 なに？なんて？？

土屋 風間さんには見えてないんですかって。

風間 あ、そっから気づいてなかったんだ。

土屋 無視されてたくらいにしか思ってたんじゃないでしょうか。

風間 やだやだ、しいひんしいひんそんなん！私無視とか絶対しいひんから！

風間、見当違いなところに向かって熱弁。

途中で土屋が久光の方に向け直してやる。

久光 はい…（手を上げる）

土屋 はいユーレイ。

久光 あの…その「ユーレイ」「ユーレイ」ってのはちょっと…

土屋 だって名前わかんないから…
風間 あれ、まだ名前聞いてなかったんや。私も知りたい知りたい！
久光 えと…久光…由喜子です。
土屋 だそうです。
風間 わかんないわかんない。
土屋 あ、そうか。久光？
久光 由喜子です。
土屋 ゆきこさん、だそうです。
風間 ほお、じゃあゆつきー！
久光 なんなの、この人たちの距離つめ方…
風間 ゆつきーはなんで死んだの？
久光 いや、だから死んでないって。
土屋 そこすら自覚してないみたいです。
久光 自覚とかじゃなくて死んでないんだってば。
土屋 根拠は？
久光 根拠…っていわれても…
土屋 ほら証明できないでしょ？
久光 で、でもあなたにはちゃんと見えてるし、会話もできてるじゃないですか！
土屋 残念でした。僕にはユーレイが見えるんです。
久光 根拠は？
土屋 今までもそうだったから。
久光 え？
土屋 ここに住み始めてから…っていうか最近ですけど、ちよいちよみみるんですよ、ユーレイ。
久光 なにそれ、靈感？
土屋 知りませんよ。ただ突然能力が開花したっていうか？他の人には見えない人がたまーに見えたりするんですよ。
風間 ずるいわぁ土屋。
土屋 なにがずるいんですか。僕はみたくないですよ。
風間 えー。いいやーん。だって友達増えるねんで。
土屋 友達じゃないでしょうこれは。
風間 なんかさあ、どうにかして見えへんもんかな？
土屋 うまれつきの才能的なものなんじゃないですか？わからないけど。
風間 えー

そこに森本、帰ってくる

森本 かりーん、なにしてんの？
風間 あ、ごめん！すっかり忘れてた
森本 もー！寒いんやから勘弁してよー
風間 だって土屋が…
森本 なに？痴話げんか？
土屋 なっ、ななななにいつてるんですか！！？
久光 バレバレなんだ…
森本 で、そちらは？

森本、久光を指す。

土屋 ああ、そちらはユーレイのひさみ…ん？
風・久 ん？

3人 ん！！？

森本 な、なにになに？

土屋 森本さん、今なんて？

森本 なになに？

土屋 じゃなくてその前！

森本 え？えーと、そちらは？

久光 私が見えてるんですか？！

森本 え？見えてるけど…？

土屋 会話になってる！！

風間 何で！どういうこと？

森本 はあ？

風間 なんで私だけ！

土屋 僕のプレミアが！！

久光 ありがとう！！！！

森本 ちよ、ちよつとちよつと！何の事かさっぱりわからへんねんけど…

風間 ずるいわー！優香も土屋もゆっきーとしゃべれるとかー！

森本 ゆっきー？

久光 あ、あの私、久光由喜子っていいいます！

森本 かりんのお友達？

久光 いやていうか…

土屋 ユーレイなんですよ、その人

森本 はあ？どうみても普通の人やん。足もあるし。

久光 ですよね！

土屋 でも風間さんには見えないんですよ。ね？

風間 うん…

森本 ええ！？だって私、靈感とかないし！

久光 その人が嘘ついてるだけなんじゃないですか？

土屋 風間さんは嘘つけるほど賢くありません！

風間 はあ！？

森本 まあ嘘とかじゃないとして…なんかの間違いちゃうの？

久光 そーだそーだ

森本 ていうかそれ以前に…あなたはなんでここにいますか？

久光 え…

風間 確かに。

久光 いや、私はただマンサク荘にシェアの見学に…

土屋 シェアの見学？ユーレイが？

久光 だからユーレイじゃないの！普通に大学の掲示板で張り紙みて見学にきたの！！

土屋 でももう部屋いっぱいですよ？

風間 アールの部屋があるじゃん。

土屋 アールさん、部屋渡さないでしょう。

風間 ユーレイだしまあいつかのノリじゃない？

土屋 え？ユーレイ前提で入居予定だったってことですか。

久光 ちよつとまってちよつとまって。明らかに話がおかしくなってきた。

風間 アールとゆつきーは知り合いなわけ？

土屋 どうです？

久光 え？なに？アールって？

土屋 アールさんは…アールさんですよ。

風間 うん。

久光 あだ名でいわれても

土屋 でも誰も本名知らないから…。

久光 ええー！本名知らない人と住んでるんですか！？

土屋 だってアールさんが大家さんだから。

久光 へ？

土屋 ここの大家さん…というか管理人さんなんですよ。

久光 えええ！？なおさら！！契約書の名前のとことかどうなってるの？？

土屋 え？だから…

土屋、
タンスから契約書を出す

土屋 ほら。

契約書の管理人欄には汚い字で「アール」の字

久光 成立するのそれ！！

土屋 契約って言うてもほぼ口約束ですからねえ…

風間 あ！そういうえば優香！

森本 なに

風間 優香、親戚なんですよ、アールと！

森本 そうだけど

風間 知らないの！？アールの本名！

森本 えー…えーとね…たしか…「りよう」…？

風間 えー曖昧！！

森本 仕方ないやん。うちの親も周りの親戚も「りようちゃん」としか呼んでないや

もん。

土屋 で？知り合いなんですか？

久光 いやいや「りようちゃん」だけではなんとも。年齢とかは？

土・森 うーん…

久光 随分ふわっとした存在である事はよくわかりました。

土屋 そもそもあんまりここにいないですからね、アールさん。

久光 え？管理人なのにな？

土屋 管理人さん…っていつても管理してないですしね。

久光 はい？

森本 放浪癖のある人で。時々…2ヶ月に1回くらいかな、ひよこつと帰ってくるんで

す。

ここからアールのみ、回想。

ドレッドヘアーに原色系の派手な服を着て、大きな楽器ケースをもったアールが登場。

アール ただいまー

久光 うわ、ファンキー。

アール 優香ちゃん、これ。

森本 はいはい、確かに。

アール、森本に茶封筒を渡す

久光 それは？

森本 家賃です。

久光 家賃！？

森本 はい、家賃だけ払いにくるんです。

久光 徴収するんじゃないか？

森本 なくしちゃうからって言うってここで全部預かってるんです。

森本、受け取った封筒を缶の入れ物に入れる

久光 またゆるい管理の仕方ですね。

森本 アールがこうしろっていうんで。ま、彼のお金ですからね。彼がこれがいいっていうならいいかなって。で、ちよつとだけくつろいで…

アール、適当にくつろぐ

寝転がったりするがふいに起き上がって

アール よし、旅に出よう！

森本 また旅にでていくんです

アール じゃ、またな。若者よ！

アールでていく

森本 というのがアールです。

久光 はあ…ていうかあの楽器ケースなんのケースですか？みたことない形だけど。

森本 …さあ。

久光 そこも謎なんですな…

土屋 こんな感じの人ですから、ユーレイが住むっていいだしても別におかしくはな…
…！

土屋、話している途中で驚愕の表情

森本 どうしたの。

土屋 大変です…風間さんが…真面目な表情をしています…！！

森本 …！！！！

驚愕の表情のまま固まる二人

風間 失礼やろ！！というかあんたらが放置するから考えてたんやろ！
森本 考える？なにを？
風間 なんで二人には見えて私に見えへんのか！！

森本・土屋・久光、顔を見合わせ首をかしげる

森本 なにが？

だから！ゆっきー！！

…あー！！忘れてた！！

三人での会話があまりにもスムーズすぎて！！

忘れるなー！！

まじで見えてないんだ：

ていうかそもそも私今まで見えた事なかったんだけどなあ：

そうなんですよ！僕「だけ」しかみられなかったはずなのに！

あんたみたくなかったんやろ！

特殊能力だと思つてたのにー！！

なんか条件があるんかなあ：

条件？

見える条件：つていうの？ゆっきー？ちゃんの姿が見えたり話したりできる条件

みたいなのがあるとしたら、かりんにも見える様になる可能性はあるんちゃう？

それや！で！その条件つてなに！？

だからそれを考えるんですよ。

そうか！よし、土屋！なんか！

な、なんかって！

頭使うの一番慣れてるんは土屋やろ！ほら！なんか！！

えー：なにかから考えたら良いのか：

まずは私と土屋くんの共通点を見つけたらいいんちゃう？

そうか：うーん：血液型は？

Bi

Oi

Ai

ばらばら：

星座は？

獅子座！

牡羊座！

乙女座！

え、乙女座なん？きつしよ。

仕方ないじゃないですか！生まれつきなんですから！

ていうか、そんな生まれつきのもんが条件やったら努力もなにも：もうどうしよ

うもないやん！

うんまあ：それもそうか。希望的観測でしかないけどたぶん先天的な物ではない

と思うんよね。

なんでですか？

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

久光

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森本

風間

土屋

森

森本 だって私もさつき初めて見えたわけやし。土屋君だって最近になってからやる？
土屋 あーまあそうですね…じゃあ…めがねかけてることか？

風間、 森本のめがねをとってかける

風間 見えへん。

土屋 じゃあ…上着着てないとか

風間、 着たままになっていた上着を脱ぐ

風間 見えへん

土屋 ズボンはいてるとか？

風間、 はしっていったってズボンはいてかえってくる

風間 見えへん。

土屋 靴下はいてるとか。

風間 はいてるし。ていうか装飾品のことばかりやん。それやったら私も見えたこと
ありそうやん。

土屋 うーん、じゃあ…昨日お風呂に入った。

風間 私も入った！

土屋 今朝歯を磨いた。

風間 私も磨いた！！

土屋 ひげを剃った。

風間 剃っ…てへん！！

森本 私も剃ってへんから！

風間 真面目に考えてえやもう！！

土屋 …って言われましても…難しいですよ…

森本 なんやるなあ…共通点…

土屋 うーん。

お互いをみつめあう二人

風間 わかった！

三人 え！

風間 塩や！

土屋 塩？

風間 お葬式の後ってさ、塩まくやん？あれって幽霊に取り付かれへんようにやるんや
ろ！

土屋 いや、そういうわけでは…

風間 幽霊の弱点は塩やねん。弱点の前では自然と力が弱まってしまふ。…だから大量
の塩分の近くでは姿を現してしまうねん。

森本 …つまり？

風間 つまり！塩分を多く取ってる人には幽霊が見えるねん！！

土屋 …えーと。

風間 どう!?

土屋 どう、といわれましても…

森本 そもそもそんなに塩分いっぱいとってる気しいひんねんけど。

風間 いーや、とってる。いっぱいとってるね。

土屋 飯にそうだとしたら風間さんはどうしたら見える様になるんですか?

風間 よくぞ聞いてくれました…

風間、キッチンの方へいく

森本 もう嫌な予感しかしない…

風間、塩をもって帰ってくる

風間 バーバーン!

森本 やっぱり…

風間 風間かりん、塩、いかせてもらいます!!

風間、塩をなめる

風間 …しよっぱ。

森本 そら塩やかななあ…

土屋 せめてご飯にかけるとか…

風間 うっさい!これが一番手っ取り早いんやから!

風間、塩をなめ続ける

土屋 …身体に悪いですよー

風間 いいの!

森本 気分悪くなるやろ

風間 大丈夫!私、子供の頃は塩で歯みがいてたんやから!

森本 それ、むしろかりんの方が塩分とってない?

久光 あの一…

土屋 はい?

久光 「私は幽霊」で、「弱点が塩」、という前提ですごく残念なこと思いついたんですけど…

土屋 なんですか?

久光 じゃあ、塩近づけたら幽霊、みえませんか?

土屋、森本絶句。

久光 さらに根本的なことという…弱点でことはむしろ姿が「現せなく」なりません?

土屋・森本、さらにショック。

なおも夢中で塩をなめつづける風間。

森本、すたすたと風間に歩み寄り、塩をとりあげる。
そのまま久光に近づけて風間を見るも、無反応。
森本、土屋、目をあわせてためいき。
森本、無言のままキッチンに塩を持って帰る

土屋 御愁傷様でした。

風間 ちよっと！私のわからないところで勝手に解決しんとってよ！

森本 果てしなく無駄な時間をどうもありがとう。

風間 まだわからへんやんかー！

土屋 いやもう充分なほどによくわかりました。

森本 ていうかそもそもこの可能性にちよっとかけた事自体があほでした。

風間 あほいうな！私の名案を！

土屋 なんかないですかね…もっと建設的な意見…

風間 土屋のだってどれもあかんかったやん！

土屋 風間さんのよりはましですよーだ

風間 なにをー

森本 またはじまった…

風間 あ！！！！

土屋 今度はなんですか

風間 優香まだなんにもだしてへん！

森本 え

土屋 本当だ！森本さんも意見出して下さいよ！！

森本 え、えー…でもこういうの苦手やねんなあ…私アホやし。

土屋 風間さんよりはましですよ

風間 さつきから聞いてりゃこんの…

風間、土屋の頭をぐりぐり

土屋 いたたたたた（ちよっと嬉しそう）

久光 あ、ちよっと喜んでる

土屋 よ、喜んでませ…いたたたた…

森本 あ。

風間 風間さん？

森本、ぐりぐりされている土屋を指す。

森本 ストレス…とか？

風間 え？なんて？

土屋 いたたたたたたたた…

風間 うっさい！（土屋の頭から手を離してからたたく）

土屋 いった！り、理不尽…

風間 なんて？？

森本 いやだから…ストレス？とか。

風間 ストレス？

森本 うん、土屋くんは常に受験に追われてて嫌でもストレス感じながら生活してるや

ん？

まあ…

土屋 私は私でさっき寒い中でまちぼうけくらったからストレスたまってるで、例えばストレスがたまってる人に見えるとしたらつじつまがあう？とか思ってたんだけど。お！それっぽい！よし、ストレス、たまれ！たまれ！

土屋、風間の顔の周りでうっとうしい動き

風間 だああ！

風間、目つぶし。

土屋 ぐはあああつ！目、目が…目があ…

のたうちまわる土屋

風間 メガネかけてるでしょ！っていうか！私にだってストレスくらいあるし！

三人 ええええ！！！！

風間 ええええ！じゃない！あと見えないけどなんとなくゆっきーも言ったやろ今！

久光 ばれた…

森本 いやいや、でも短時間しか見てないゆっきーちゃんですらわかるレベルでストレスなげな生活してるで、かりん。

風間 失礼な！私だって将来のこととか、親のこととか考えたらいらいらするん！

森本 親？

風間 そう！あのくそ親！仕送りとめるとかいだしてさ

森本 ええ！なんで？

風間 お正月に帰った時に留年するからっていったらさあ、急にその場の空気が凍りついて…

土屋 ン？留年？

風間 そう！前期に必修科目落としちゃったから留年しそうって正直に話したら…

森本 あ！！

森本 え…なに、かりん必修落としてたん？

風間 え、えーと…落としかつていうか…とり…忘れてたというか

三人 えええー！！

風間 だ、だつてさ！別に英語とか興味ないし、受けたい授業を選択できるのが大学つてもんでしょ！

森本 え、しかも英語！？さすがに語学はとらないと…

土屋 大学生でもない僕でもわかる常識です…てか風間さん英文科ですよ！

風間 英文科の学生みんなが英語が好きとは限らない！

森本 たまたま通ったのが英文科だったの？

風間 マークシートだったからね！

土屋 幸運というか不運というか…

森本 それにしても英文科が英語とらないのはさすがに…

風間 なにさ！みんなしてー！もーだから言いたくなかつたんやー！！

久光 ま、まあそういうことも…あ、あるよね？

風間 やろー！！はあーもうわかってくれるんは…ん？あんた誰？
三人 ……
風間 ……
四人 ええええええええええ！！
風間 え？ゆっきー？ゆっきー？
久光 はい、ゆっきーです！
森本 なに？見えてんの？見えてんの？
風間 見えてる…！
久光 おおおー！！
風間 やったー！！
土屋 でもまたなんで突然…
森本 やっぱりストレスなんちゃう？さっき私らに責められたから…
土屋 あ、なるほど！！
久光 えー…じゃあ本当にいらだってる人には見えるってことですか？なんかやだ…
風間 なんでもいいやん！見えたんやし！わーい！見えた！見えた！

日下部、入ってくる

日下部 うるさー…いーい！！！！なんやねんさっきからやいやいやいやい！ストレスたまってしゃーないねん！アホトリオ！！

勢いよく出て行く日下部
びびって縮こまる土屋

土屋 す、すいませーん…
風間 びっくりしたなもう…あ、ゆっきー、さっきのはべっち。
久光 あ、さっき一回会いました。ていうか一方的に見ました。
風間 そうなんや。キレたらあの通りやけど根は良い子やねんで。
久光 そう…なんだ…？
風間 うんうん。でもアホトリオはひどいよなー！
森本 ん…？おかしいな…
風間 うちらは年上やぞって…
森本 いやいやそうじゃなくて…トリオ？
三人 あ…
土屋 ストレスMAX状態の日下部さんが見えてないってことはストレス説はちがうか…
風間 ……
森本 えー！じゃあなんなん？なんなん？？
土屋 気になるなあ…
三人 何が引き金になってみえるようになったんでしょね…
久光 うーん…
三人 いやいやいや。
久光 あ、私が見える見えないうんぬんよりも先に私のいろんな謎を解明してほしいんですけど…
風間 謎って？

久光　なんで私がいきなり幽霊になってるのか、とか…

土屋　死んだからでしょ。

久光　だから死んでない！

土屋　だから根拠は？

久光　え、と…あ、そうだ！天板！

土屋　天板？

久光　そう！トイレの天板が落ちてきたんです！あ、別に私になにかしたとかじゃないですよ！突然降ってきて…で、頭にバーン！って。

土屋　それで死んだ、と。

久光　そんなことで死なないでしょ！

土屋　わかんないですよ。打ち所が悪かったら…ねえ？

森本　…まあ何とも言えないけど…それで死ぬのは相当難しいかもね…それから？

久光　それから…っていうか、それでトイレからでてきたらここに日下部…？さんがいて。

森本　ここのトイレからでてきたのは間違いないの？

久光　はい、(窓の外を指差し) そのトイレから庭を通って…

風間　はい？

久光　え、だからその…

風間　そこ、物置だよ？

久光　え…？

風間　ちよつと来てみ…

風間、久光を連れて外へ。

物置の戸を開けてみせる

風間　ほれ。

久光　あ…れ…？え、うそ？いつから？

風間　いつからもなにも。ここはずっと物置やで。

久光　ええええ…？あれ？

久光　きよろきよろ周囲を見渡す

久光　そういえばちよつとさつきまでと様子が違う気がする…

風間　へえ…？

久光　塀の外に目をやり

久光　あ！！木がない！！

風間　木…？

久光　木ですよ！マンサクの木！！

風間　へ？なにそれ？

森本　マンサク？ならそこにあるけど…

森本、塀の内側の隅っこに置いてある小さな苗木を指差す。

久光 …え？こ、これ？

森本 うん、それ。

久光 他には？木とか植えてないんですか？

森本 ないよー。こんなにお庭があるのに植物がないのは寂しいなと思って育て始めたから。

久光 元々植わってたから「マンサク荘」なわけじゃないんだ。

森本 うーん。ていうかずっと決まった名前がなかったんやけど、呼び名があった方がいいかなって話になって。ちょうど私がマンサクを育て始めたから「マンサク荘」になった…んやんな？確か。

風間 そうそう。でもゆつきーよくマンサクが木の名前って知ってたな。

森本 ほんまやな！マイナーな木やのに。知ってる人がいてくれるのは嬉しいわあ。

久光 …なんか…私わかった気がする。

森本 へ？

土屋 なにがですか？

久光 いや、全然わからない…わからないけど…でもそうとしか…

風間 なに？どうしたんよ、ゆつき…

久光、マンサク荘の外へ飛び出して行く

風間 え、ちよつとゆつきー！

森本 ど、どうしたんやろ…

土屋 追いかけた方がいいですかね？

風間 そらそうやろ！

森本 でも、追いかけてどうすんの？

風間 どう…どうって言われても…

土屋 元々ここの人じゃないですし…っていうか人じゃないですし

風間 そんなんわからんやん

土屋 え？

風間 ゆつきーは幽霊かもしれないけど、この事を外の人にしてはよく知ってたし、それに…なんか分かったみたいやったやん？

土屋 「なんか」って？

風間 しらへんけどさ。でもほら、なんか…なんか面白そうやん！なんか！

土屋 なんかばっかり

森本 でも確かにちよつと気にはなるかもね

風間 やろ！このままいなくなれたら気持ち悪いやん！

土屋 そうですか？幽霊の言う事にはあまり深入りしない方がいい気も…

風間 ははーん。さては土屋、ビビってんな？

土屋 は？び、びびってなんか…

風間 いいよいいよ。怖いんやったら無理せんでも。私らだけで仲良くなってちゃんと謎も解明したらそんなときは教えてあげへんし。

土屋 なんですかそれー！

風間 いこかー、優香。

風間、森本をひっぱってでいていく

土屋 あ！ちよ、ちよとまってくださいよ！！

土屋慌ててついでいく

静かになった居間に日下部がおりてくる。
少し辺りを見渡してからノートを取り出し、書き始める。

そこに清水が気絶している久光を抱きかかえて帰ってくる。

お互いのことは全く見えていない様子。

清水、久光を寝かせて頬をたたく

清水 久光さん？久光さん。弱ったなあ…久光さん…ゆつきー？ゆつきー！！

むくつと起き上がる久光

清水 おお！ゆつきー！よかった！しんじやったのかと思ったよー！

きよるきよるする久光

清水 ゆつきー？

久光 うわっ！清水さん！？

清水 はい、清水です。

久光 あれ？なんで…？

清水 そうだよねー、ごめんねー！まさかあんなとこのネジが緩んでるなんて思わなくて…入居までにはもつかいちゃんと言えんとメンテナンスしないとね！

久光 ここは…マンサク荘ですよね？

清水 うん。

久光 私は…どうなってたんですか？

清水 え？えーと…トイレの柵板の直撃を受けてトイレトペーパー抱えて気絶してたからここにつれてきた…かな。

久光 あ、そうか…。そう…ですよね。

清水 ごめんねー。ほんと申し訳ない！

久光 あの、清水さん！

清水 ん？

久光 ここって築何年ですか？

清水 んー何年かな…そんなに古くないんだよ？20年は立ってないし…15年くらいかな

久光 清水さんが建てたんですか？

清水 まあね。土地は元々親戚のものだったから。

久光 マンサクってそのときに植えたんですか？

清水 うーん、元々苗木だったのを底に植えたのはここが建ったときかな。

久光 清水さんがいちから育てたんですか？

清水 いや、元は他の子が育てたんだけど。譲り受けたって言うのかなあ。

久光 その「他の子」って誰ですか？

清水 ……なんでそんな事きくの？

久光 え、いやなんと…なく？
清水 君はなにか知ってるのかい？
久光 え？

清水 最初からなにか知っててここに来たのかつて聞いてるんだよ
久光 し、知ってるっていうか…

清水 それとも知りたいのかい？何が知りたい？ここが建つたときのこと？それとも、
清水 建つ前のこと？

久光 え、えーと…

清水 彼らにあつたんだね？

久光 彼らって？

清水 悪いことはいわない。ここに住むのは諦めなさい。

久光 えー！なんでですか。

清水 君はここにいるべきじゃない。少し高くはなるかもしれないけれど、もつといい
清水 物件はいくらでもある。さあ、でてつてくれ。

久光 ちよ、ちよっと！なんなんですかいきなり。そんなの納得できません。

清水 悪いね。でもこれ以上ここで知るべきではないんだ。

久光 なにをですか！私はなにも知りません。知ってるのかもしれないけどわからない
清水 んです。なにか隠さないといけないことでもあるっていうんですか？

清水 ああそうだよ。僕は君に隠し通さないといけないことがあるんだ。そんな相手と
清水 一緒に暮らせるかい？不信感を抱いている相手と同じ屋根の下にいるのに安心して
久光 眠れるかい？

清水 それは…

清水 これから入居者が増えそうな時期だから大丈夫かと思つてたけど、そもそも僕は
清水 男。君は年頃の女の子だ。個室があるとはいえ二人で暮らすのはあまりよくない
久光 んじゃないかな。

清水 じゃあ入居者が他に増えたら入れてくれるんですか？

清水 そのつもりだったけど今はもう無理だ。

久光 だからどうして

清水 俺は人を殺したんだよ！

久光 …え？

清水 人を殺したことがある。殺人犯なんだよ…僕は。

久光 ふざけないでください

清水 ふざけてなんかかない。もちろん君を殺すつもりなんてないよ。でも…これ以上関
清水 わると…

詰め寄る清水。

後ろ向きに下がりとつ階段の方に近づく久光

日下部、何かの気配を感じてノートをこたつの中に隠す

日下部 誰かおるんか？

久光 あ！（窓の向こうを指差す）

清水 え？

隙をついて階段をかけあがっていく久光

清水 あああ！！ちょっとまって！そっちは危険だか！

二階から轟音

清水 …だから言ったのにもうー！！

階段をあがっていく清水

しばらく人の気配を感じて警戒していた日下部。
人の気配が消えたので

日下部 …気のせいか…。

ふたたびノートを書き続ける日下部。

しばらくして、風間たちの声が聞こえる。
あわてて再びノートをこたつに隠す日下部

風間 足速いよねー！

土屋 ていうか足で走ってないんじゃないですか
風間 どういうこと？

土屋 ほら幽霊ですから瞬間移動とか…
風間 あ、ありうる
森本 あれ？日下部君、おりてきてたんだ

ぎくつとしてかたまる日下部

日下部 お、おう。

風間 なにしてたん？
日下部 いや、べつに…テレビ見てただけ
風間 テレビ…ついてないけど

日下部 …「テレビ」を見てたんやんけ。
風間 ほおー。

日下部 なんやお前ら、買い物ちやうん
風間 ちよつとわけあって予定変更。ゆつきー探しに行ってるん

日下部 ゆつきー？
土屋 例の幽霊ですよ

日下部 はあ？お前までなにいうとんねん
風間 残念でしたー私だけじゃなくて優香にもちやーんと見えてんねんでー

日下部 うっそ、まじで？

森本、うなづく

日下部 ほななんやねん、俺だけ見えてへんってことか？
風間 ぴんぼんぴんぼん！な、べつちも見たいやろ、ゆつきー。

日下部 せやなあ…ってあほか！いらんわ！ていうかそんな嘘にひっかかるか、ぼけ。

風間 うそちやうって
日下部 なんや？今日は俺の誕生日か？入居記念日か？ちやうやろ。何もないときにドッ
キリなんてあほらし：

上から久光がおりにくる

久光 いたたた：

風間 (指差して) あ！ゆっきー！！

日下部 え？

久光 風間さん！！

風間 ほら、そこ。その階段とこにいるねんて！

日下部 なにがあ

風間 ゆっきー！

日下部 はあ？だから…なにを…あほな…

階段をおりにくる音に気づく日下部

日下部 …なんや、この音。

風間 音？

森本 もしかして、階段おりに音…

日下部 みたいな…って…え？

風間 なんや、音は聞こえるんや！じゃあもうちよつとで見える様になる…

日下部 な、なんやねんさつきから！この家はー！！

日下部、猛ダッシュで階段を上る

ぎりぎりですれちがう久光

風間 ちよつと、べっち！べっち！！

土屋 意外と恐がりなんですね

森本 ちよつと可愛い…

風間 しっかし、なにしてたんやろなあ、べっち…怪しいわ…

土屋 …それより久光さん！

久光 は、はい！

土屋 どうやってそこからでてきたんですか？

久光 え、えーと…どうやってというか…

風間 瞬間移動やろ！そうやんな！！

久光 残念ながらそうだったものではないみたい…です

風間 じゃあどういったもの？

久光 そもそも私はやつぱり幽霊じゃなかったっていうか…

土屋 まだ言ってるんですか

久光 ほんとなんですってば

森本 自分の正体がわかったってこと？

久光 ええ、まあ…たぶん？

風間 たぶん？

久光 私の…っていうかこの正体がわかった…気がします。

森本 ここ？ここはマンサク荘やけど
そうなんですけど…

風間 あーじれったいなあ！なにがわかったん？

久光 いや、あの、これはあくまで推察なんですけど…ここはマンサク荘はマンサク荘
でも過去のマンサク荘なんじゃないかなって…

風間 どういうこと？

久光 だから…私から見たら過去、って言った方が正しいのかもしれないですけど。

風間 ゆっきーからみて過去ってことはここが過去とするとゆっきーは過去の未来にい

るわけだからだから…過去の未来は現在…いやそうともかぎらないから…ん？
なんでそんなにややこしくなるんですか！

森本 つまりゆっきーは未来からきたってことでしょ

土屋 そういうことです…って

土・風 ええええー！！！！

久光 なんて土屋さんまで驚いてるんですか！

土屋 じゃあなんですか？これまで僕が何回か見てきた幽霊はみんな未来人てことす
か？

久光 そうなんじゃないですか？わかんないけど。

森本 なんてそう思ったん？

久光 マンサクの木を見たときにそうかなって。私が住んでる世界ではマンサクの木は
もう立派な木に成長してて、それがまだ苗木の状態だってことはそうなのかなっ
て…

土屋 そんなことだけじゃ…

久光 それだけじゃないです。皆さんのファッションや周りの風景、それにテレビ番組
だって…

テレビをつける

スマップの「がんばりましょう」が聞こえる

久光 スマップが若い！！

風間 スマップは若いよ！！

久光 私の住んでる時代のスマップはもうだいたい40超えてるはず

風間 うそやー！

久光 ほんとですよ。…え？これだれ？

風間 え？森君。

久光 誰それ知らない

三人 ええー！！！！

風間 うそやろ！さすがにテレビみいひん優香でもしってるよな？

森本 うん、まあスマップくらいは

久光 え…だって…キムタクでしょ、しんごでしょ、中居くんでしょ、ごろちゃん

風間 しょ、つよポンと…え！6人なの？

風間 6人だよ！

久光 いやいやいや5人ですよスマップは！

風間 6人！5人だったことなんてないって…

森本 この先5人になる…ってこと？

風間 死ぬん！？

久光 え、そんなことは聞いたことないけど…
風間 いやー！死ななくてもいなくなるんはいやー！私森くんが一番やもん！！
森本 かりん、ファンやっけ？
風間 そこそこ！！
土屋 え、え、じゃあ未来の事はいろいろわかるってことですか？
久光 たぶん？
土屋 スマップがそのくらいの年ってことは20年くらい後ってことですよね。
久光 私がいるのは2016年だから…
風間 おお！近未来！ドラえもんできた？
久光 いやそれはまだ。
森本 そもそもドラえもんって22世紀出身じゃなかったっけ
風間 あ、そうか。
久光 あ、でもひみつ道具みたいな便利な物はいっぱいできてますよ
風間 え？え？例えば？
久光 例えば…あ、携帯電話とか
土屋 それならもうありますよ！
久光 でもこんなおつきいやつでしょ。今のは薄いし小さいし、画面もカラーだし、インターネットもできるし、アプリも沢山あるし！
森本 ア、アプリ？
風間 インタ…？？
久光 えーと…あ、あと通話も無料でできます！
土屋 ええ！じゃあどうやって携帯電話の会社はもうけるんですか！
久光 基本使用料とか？
風間 他には？
久光 他には…

久光、おいてあるCDに目をやる

久光 CD…今のCDはこんな小さくないです！
森本 レコードみたいになるってこと？
久光 そこまでじゃないけど…もう一回り…これくらい大きくなります。
風間 あ、なんかそれ知ってる！たまに見る！！え、全部あれになるん？
久光 はい、あと、ジャケットは正方形に近い形になります！
土屋 携帯電話は小型化するのにCDは大きくなるんですか…
久光 その分、容量とか音質とかもパワーアップしてるってことなんじゃないかなあ…
土屋 今はもうほとんどカセットとかMDはつかわないし。なんならCD買わなくてもネットワークでデータとして音源買う人も多いし。
土屋 そんなことができるんですか！？
久光 インターネットがあればなんでもできますよー。画像も映像もデータ送信できるし、SNSで世界中の人と友達になれたりするし。今や大学の講義にもオンデマンド授業がとりいれられるくらいですからねー
土屋 そんなことができるんですか！？
森本 土屋、絶対わかってへんやろ
久光 とりあえず便利なんやね
久光 超便利ですよ！便利すぎてみんなが使いすぎていろいろ問題が起こるくらい。

風間 問題って？
久光 うーん、携帯の使いすぎで目が悪くなるとか首の骨が変形するとか怖っ！
風間 あとは遠隔操作のコンピューターウイルスを使ったりしてサイバー攻撃をしかける悪い人が出てきたりとか。
久光 ああ、サイバー攻撃ね…
風間 風間さんもわかってないでしょ！
土屋 なんかに：すごい時代やな…
土屋 あ、じゃあ経済は？景気は回復するんでしょうか
風間 うわーお堅い質問
土屋 大事な事ですよ。ね、どうなんですか？
久光 うーん：私経済のこととかそんなに詳しくないからよくわかんないけど…たぶんよくはないんじゃないかな…不景気不景気ってよく聞くし。
土屋 そうなんですか…
久光 消費税ももうすぐ上がるっていつてるしね
土屋 ええ！やっぱ税率7%に引き上げになるんですか？
森本 うそお、あれ撤廃になったんじゃないの？
風間 ていうか消費税ってなくなるんじゃないの？
森本 いや、だからそれも撤廃なんですよ。
久光 なんかにこの頃からいろいろあつたんですね…ちなみに今の消費税は8%です。
風間 8%！
森本 それはきつい…
風間 計算がややこしい…
土屋 いつからそんなに上がっちゃったんですか？
久光 うーん：何年か前からだっけ？私が物心ついたころには5%だったんですけど…
土屋 5%でもなかなかつらいですね
風間 計算がややこしい…
土屋 5の倍数くらいは頑張ってくださいよ！
森本 近々ってことかな…
土屋 え、じゃあそれ以上あがるんですか？
久光 なんかにニュースでは10%にあがるかも？って
土屋 おいおい勘弁して下さいよ
風間 一番計算しやすい！
森本 わかればそれでいいんや…
久光 最近政治がごちゃごちゃしててわかんないんですね。総理もしょっちゅう変わるし。
森本 ここ最近もそうやんね。羽田さんなんて三ヶ月ももってなかったし。
久光 ええ！それはさすがに短い！！
風間 なんかに楽しいな、こういう話。
久光 そうですね。
土屋 そうですよ、今の若者はもつと政界に関心を持って
風間 そっちじゃない！
森本 でも未来からどうやってきたん？
久光 それが、どうも未来の方のマンサク荘で強い衝撃をうけるとこちらにこられるみたいなんです

風間 ほうほう

久光 一回目はトイレの天板が落ちてきて、二回目はたぶん管理人さんの部屋に入った荷物も崩れてきて：

森本 二回目ってことはさつき一回未来に戻ってたって事？

久光 そういうことみたいです。こっちに来てる間は未来の私は気絶してたみたいなんです、外にいろいろ探索に行こうとしたときにちょうど目覚めてもどっちゃったみたいなんです。

森本 じゃあまた未来のゆつきーちゃんが目覚めたら向こうにもどっちゃうってこと？

久光 そうなんじゃないですかね：

風間 そうなったらまた気絶してこっちきたらええやん

久光 なんか身体にわるそう：

土屋 管理人さんはその事を知ってるんじゃないでしょうか？

久光 そこなんですよね。でもたぶんなにか知ってるんだと思います。

土屋 なにかって？

久光 てがかりとかないかなと思って管理人さんのお部屋に入ろうとしたらこうなっちゃったんで詳しくはわかんないんですけど…でも「彼らに会ったのか」って聞いてきたりもしたし、あと：

黙り込む久光

風間 どうしたん？

久光 いや。なんでも：

風間 なんでもなくはないやろ

森本 なにか思い出したん？

土屋 ていうか：「彼ら」って事は僕らのことを知ってるってことですか？

久光 そう：なんだと思います

風間 なあ、その管理人さんってさ：

いいかけたところで日下部がおりてくる

風間 あ、べっち。

日下部 げ：

日下部、ゆっくりあとずさって階段を上がって行く

風間 待った！

日下部 な、なんやねん

風間 なにしにきたん？

日下部 いや：べつに…まだいるんかなあって：

風間 寂しがりか！

日下部 ちや、ちやうわ！お前等こそなにしとんねん、長々と！

風間 別にー。普通におしやべりしてただけやし

日下部 そうか。…ずっと立ったままで？

風間 うん。

日下部 こたつにも入らずに？

風間 うん。なんか文句ある？
日下部 (ちよつと安堵の表情を浮かべて) いや別にい。俺はこたつにでも入ろうかなあ…
風間 なにいきなり
日下部 あったかいかなあと思つて…あ、ていうかあれやわ、あの、俺さつきこたつの電
源ちゃんと切つたかなあと思つて。あ、切つてるわ、俺えらいなあ。なあ、土屋。
土屋 当たり前です。使つた後はちゃんと電源を切る。もう今年に入ってから7回は言
つてます。
日下部 そうそう。だからほら、態度を改めようとおもつてな。はい。確認おわり。

日下部、そつとノートを回収して後ろ手に持つ
後ろでのまま階段の方へ

日下部 これからもちゃんと電気は大切に使わんとなー！ほんまに。ほんまにー…
風間 何隠してんの？

日下部 へ？いや、なにも。ていうかなにがー？

風間 後ろ！なんか持つてるやろ。

日下部 え？後ろ？後ろつてなにが？

風間 いいから。ほら手だして

日下部、右手をだす

風間 反対

日下部、ノートを持ち替えて左手を出す

風間 両手

日下部 え…

日下部、ズボンにノートをはさんで両手をだしてみせる。

日下部 ほら、なんももつてな…

後ろにたつていた久光、ノートをとりあげる

風間 ノート？？

日下部 そや、ノートなんてだれももつてな…え！？(振り返り) えええ…！！

風間 ゆっつきー、パスパス！

久光 え、え…

日下部 幽霊か！おいこら返せ！返せ！

久光と日下部の攻防

久光、とつさにノートを投げると森本がキャッチ。

森本 あ。

風間 優香ナイス！パスパス！

日下部 あ…も、森本…さん、それ、あの、こっちに…

森本 え、えーと…

土屋 ま、まあまあ、誰しも知られたくないひみつってのは一つや二つありますし…

風間 あかん！一緒に住んでるんやから隠し事なんて許しません！

土屋 風間さんだって留年のこと内緒にしたじゃないですか…

風間 ちよっと！まだべっちには言っただけじゃなかったの！

日下部 いや知ってたで

風間 え！なんで！

日下部 親に必死で電話してるの聞いてもうたから…

風間 えええ…

日下部 でもほら、ちゃんと俺黙ってたで！な、だから返し…

森本 ん？

日下部 ん？

森本 ひみつ？

日下部 おう、そうや、ひみつや。認めるから…

森本 あー！！これちゃう！？

日下部 なにが？

森本 ゆつきーちゃんが見える条件！！

日下部 は？

土屋 どういうことですか？

森本 かりんにゆつきーちゃんが見える様になる直前、たしか留年の話してたよな！

風間 そうやったつけ？

土屋 あ！そうでした！

森本 で、私はアールと親戚関係ってことをさつきかりんに話してから幽霊っていうか

ゆつきーちゃんが見える様になったわけで。

風間 ほんまや！…ということとは…

日下部以外全員、ノートをみる

日下部 はあ！？ま、待てや！別に俺、そのゆつきーとか見たくもないし！

風間 これは検証実験なのだよ…。

森本 そういうわけだからごめんね、日下部君…

日下部 ちよ…

土屋 ちよっと待った！

風間 なんやな土屋

土屋 それはやっぱりおかしいです

日下部 せやんな！！

風間 なにがおかしいのよ

土屋 その法則が正しいとすると、僕があてはまりません。

森本 なに？土屋君なにか隠してんの？

土屋 はい！…あ、いえ…

風間 なによ？隠し事って

土屋 そ、それを言っちゃ隠し事にならないわけ…

風間 なによ？この際やし言いやーやー。あ、ほら、黙っといてあげるし。私にだけ、な、

な！

土屋 い、いえ！特にその：風間さんには：
森本 なに？かりんのこと？
土屋 いや！違います！それは断じて違：
風間 ああ、私が好きってやつ？
土屋 なんだ知ってて：ってええ！？
森本 そんなんもうみんな知ってるで。なあ。

一同、うなづく

風間 いや知ってるっていうか嫌でもわかるっていうか：
久光 あの態度じゃあねえ：
土屋 え、えええ：
森本 もういつそはつきりしといた方がいいんじゃない？
日下部 俺もそう思う。
土屋 そうですか？じゃあ：

風間のところに歩いていってぴたっと立ち止まる。

日下部 お。

森・久 おおお。

土屋 ええ：ずっと抱き続けてきた言葉を：今、うたいます！

森本 歌うんだ：

土屋 ん、んんーっ。♪きみが好きだーと！さけ：

風間 さげばないでください。

土屋、撃沈

森本 うわあ、撃墜。

日下部 わかっていたとはいえこれはきつついなあ：

風間 優しくしない方がいいんやろこういう場合。

森本 うん、まあそうかもしれないけど：

土屋 うわああああ！！

突如起き上がって猛ダッシュし、ノートをふんだくる

日下部 おい、なにすんねん

土屋 こうなったらもう失う物はなにもないです！日下部さん、あなたにも覚悟を決めてもらいます！

日下部 なんでそうなんねん！

風間 よっ！土屋！男前！

土屋 ：なんか複雑ですけど：いきます！

日下部 おいやめろ：！！

土屋 いざ！

ノートをひらく土屋

土屋 1月1日 新しい年が明けました。
日下部 あ、ああ……
土屋 去年はいろいろなあったけど、今年が良い年にしたいです。
森本 ……日記？
日下部 やめろ！やめてくれ！！
土屋 みたいですね。1月2日……
日下部 も、もういいやろ！！

日下部、ノートをひったくろうと顔をあげ、久光と目があう

日下部 あ……
久光 え……？
日下部 誰やお前……
久光 もしかして……見えてます？
日下部 ……ゆう……れい？
森本 わ！うそ！！
土屋 てことは……
風間 ほんまにその法則であつてたんや！！優香すごいな！！
森本 えへへー
日下部 こ、これが幽霊なんか？
久光 いや、正しくは幽霊じゃないんですけどね
風間 紹介しとくわ、幽霊改め未来人のゆつきー。
久光 あ、はい。もうゆつきーでいいです。
日下部 未来人？
久光 2016年のマンサク荘から来ました。
日下部 お、おう……おう？
森本 まあ理解できひんよな……
風間 で、こちらはべつちこと日下部勇くん。17歳。
久光 日下部……勇！？
日下部 なんや文句あんのけ
久光 いや、えーと。
風間 かっこいい名前でしょー
日下部 うっさいわ！
風間 中卒ですぐに家出してきた不良息子でーす
日下部 ほっとけ。

ずっとノートをぱらぱら見ていた土屋、何かに気づいて噴き出す

土屋 ぶっ
風間 ん？どした？
土屋 いや、これおかしいなと思って
日下部 う、うっさいわげが！返せ！！

日下部、土屋をたたいてノートをひったくる

土屋　　いった！
日下部　文章へたくそなんはしゃあないやろ。ほっとけや！！
土屋　　そうじゃなくて、日付ですよ、日付。
日下部　日付？
土屋　　今日一日に何回日記書いてるんですか。
日下部　はあ？なにをわけのわからん…

日下部、ノートを見て止まる

日下部　…あれ？
風間　　なになにどういうこと？
土屋　　いやね、一言ずつなんですけど、今日の日付で延々日記が書かれてるんですよ
風間　　なにそれ。変なのー
日下部　いや、俺はたしかに毎日ちよつとずつここに…

久光、ノートをのぞきこむ

日下部　お前！勝手に見んなや！
久光　　！！
日下部　な、なに深刻な顔しとんねん！
久光　　…今、西暦何年ですか？
風間　　えーと確か…1995年？
久光　　…そうやったんや…
風間　　え？
森本　　なんかわかったん？
久光　　たぶん…
土屋　　なんですか？
久光　　ここは…おそらく…

清水が手にアルバムをもって入ってくる

久光　　清水さん！
風間　　え？
森本　　しみずさん？

住民一同、久光のしている方向をみるが清水は見えていない様子。

久光　　見えて…ないんですか？
風間　　なに？また幽霊！？
久光　　いや、幽霊っていうか…
森本　　だれか、見える？
風間　　土屋、どうよ！
土屋　　いやーだめかな…

清水、アルバムをめくる

久光 …！これって…

風間 どうしたん。

久光 いや…えーと…

森本 ゆっきーちゃん。

久光 はい

森本 わかったこと、話してくれへん？

久光 …でも…

森本 大丈夫やから。

久光 え

森本 私は大丈夫やから。

風間 なにが大丈夫なん？

森本 な。

久光 …皆さんは…どうですか？

日下部 何が？

久光 今から私が話す事は、皆さんにとってすごくショックな話…になるかもしれないませ

ん。ちゃんと心の準備をしてきていたくださいんです。

風間 え…

土屋 ショックなんですか？じゃあ聞かない！

土屋、耳をふさぐ

風間 何言うてんの！

土屋 じよ、冗談ですよ

久光 それでも、真実を知りたいですか？

風間 そ、そりやあ…まあ

土屋 気になりますもんね。

久光 …そう…ですか…。

しばらく間

久光 …ご、ごめんなさい…

風間 ゆっきーちゃん？

久光 わ、わたし…やっぱ無理です！

久光、走り去ろうとする

それを日下部がとめる

日下部 待てや！なんやお前さつきから。散々引っ掻き回しといて、今更逃げるんけ？

久光 そうじゃな…

森本 そうじゃない！

一同静まる

森本 ゆつきーちゃんは逃げてるわけじゃないねん。逃げてんのは私らの方やねん！そ
うやんな？

久光 ……はい。

日下部 どういう…ことやねん

久光 今日…皆さんが今日だと思ってる日に、ここでとっても大きな出来事がおこり
ました。その時生きていた人はみんな忘れる事ができない大きな出来事です。

風間 なに？

久光 1995年1月…17日。その日、

清水がアルバムのページをめくる。

久光 大きな震災があったんです。

風間 ……え…

久光 大地震で家がつぶれたり、道路が曲がったり…20年以上たった私たちの時代で
も1月17日には黙祷をささげたり、慰霊祭がおこなわれたりしています。

風間 その地震が、ここで起こったってこと？

久光 震源は少し離れたところですが…恐らくこの辺りも被害の大きい地域だったと…
日下部 ……ふーん。で、お前は結局何が言いたいねん。

久光 何って…

日下部 今日地震があった？それでこの辺が被害をうけた？そんなわけないやんけ。現に

今、この辺のもんはなんもつぶれてへん。地震のことも誰もしらへん。というこ
とは地震なんかなかったつちゅーことやろ。何をお前らも深刻になつとんねん。

風間 で、でもゆつきーは未来から…

日下部 それもどこに証拠があんねん。なんか証拠になる事でもあったんか？

風間 それは…

日下部 確かに変な事はいっぱいあったかもしれないけど、地震？未来？なんやそれ。非現
実にもほどがあると思わへんのか。

久光 そうですよね…。そうだと思います。でも…本当に現実を知りたいのなら…

久光、清水のアルバムを持ち上げる

清水 え…！

日下部 おい、なにすんねん。

風間 ゆつきー？

久光 ちゃんと受け止めて下さい。

久光、アルバムを清水の頭に振り下ろす。

殴られて意識が飛ぶ清水

机につぶす。

と、同時に周囲の人たちに清水が見える様になる。
驚く一同。

風間 え…！

森本 こ、この人…

顔を上げる清水

清水 …… ったたた…… なんだよ…… !!

取り囲む人々の顔を見回す清水

清水 …… 君たちは……

日下部 お前…… もしかして……

森本 …… アール？

風間 うっそ！え、どうしたん！なんかすごい老けてない？

清水 …… みんな……

土下座する清水

清水 すまんかった！！

風間 え……

清水 許してくれなんて言わない！むしろ許すな！全部俺が…… 俺のせいなんだ……！

風間 ちよ、ちよつとアール……

土屋 落ち着いて下さい…… なにが俺のせいなんですか。

清水 俺が…… 俺がこんなところでシエアしようなんていいかさなかったら…… 俺が君たちに声をかけたりしなければ、君たちは……

泣き崩れる清水。

しばらく呆然とそれをみつめる住人達。

清水 …… 本当に…… すまんかった……！

森本 ちゃんと…… 説明してくれへんかな……。ここは…… 私たちは一体なんなん？

清水 君らは…… 21年前のマンサク荘の住民だ。21年前、マンサク荘と一緒に…… 死んだ。

日下部 ふざけんなや！

森本 日下部君！ちゃんと聞いてあげて。それから？じゃあなんで私たちはここにいますん？

清水 本当にそうなのかわからない…… でも…… 考えられる可能性があるなら…… 君らはここに取り残された…… 意識だ。

風間 意識……？

清水 マンサク荘が壊れてから、僕はここにもう一度マンサク荘を立て直す事にした。またシエアを始めようと思ったんだ。でも、ここに訪れた人たちはみんな不思議な現象にあった。誰もいないところで視線を感じたり、ふいに音が聞こえたり。

なかには幽霊を見たという人も現れた。そこで気がついたんだ。ここには君たちや、マンサク荘の意識が残っているのかもしれないって。

日下部 そんなん信じられるか。お前らも信じられへんやろ、なあ！

黙り込む森本、風間、土屋

日下部 …… なあ！そんなアホな！って！信じられるか！って！言えや！

久光 …それで、いいんですか？

日下部 ああ！？

久光 日下部さん、逃げるなって言ったじゃないですか！それで自分は逃げるんですか！？せつかくみんな受け止めようってがんばってるのに！

日下部 さつきから聞いてたら何言いさらしとんねん！！

清水 勇！！そうか、君がここに呼んでくれたんだね、久光さん。…ありがとう。ちょっと痛かったけど…なあ、勇君、なんで久光さんが僕をここに呼んだのかわかるかい？

日下部 …ああ？

清水 時間だよ。僕は君らの止まった時間を動かしに来た。

風間 とまった…時間？

清水 ああ、久光さんが持つてるアルバム。それはマンサク荘の記録だ。二つのマンサク荘の歴史がそこに詰まってる。

土屋 見ても…いいですか？

清水 ああ。みんなで見てごらん。僕が親戚から土地を譲り受けてマンサク荘を始めた時、初めての住人…土屋くんが来たときの写真もあるね。

久光 はじめは土屋さんだったんですか

土屋 予備校に行く途中で張り紙してるアールさんとぼったり会って。家賃が安かったからすぐ引っ越しました。…でもシェアだなんて思ってたんですよ。

清水 しばらく自室から出て来なかったよね。

土屋 他の人とトイレもお風呂も共有だなんて信じられなかったんです！

久光 ああ…やっぱりトイレの話は土屋さんのことだったんだ…

土屋 え？なんのことですか？

久光 いえ、なんでも…

清水 それから優香ちゃんやかりんちゃんが入ってきて、ちよつと華やかになったマンサク荘の集合写真がこれ。このすぐ後に勇君が入ってきたんだよね。

風間 っていうか段ボール広げて駅前で生活してたのをアールが拾ってきたんですよ。

久光 そうだったんですか

清水 もう典型的な家出少年だったからね。しばらくはなかなか打ち解けてくれなくて困ったよ

日下部 ……

清水 で、これが第一回マンサク荘慰安旅行の様様。

久光 慰安旅行？

清水 僕の放浪の旅で見つけた名所を巡る旅行にご招待したんだよ。でもアールのチョイス最悪やったよな。名所って言うから観光地かとおもったのに変な看板とかいっぱい見せられて、ご飯はよおわからん定食屋ばかり。

清水 その「よおわからん定食屋」がおいしいんだよ。

森本 あ、マンサク荘の看板。

風間 私と優香でつくったんよね

土屋 えー！僕たちも手形、ちゃんと押したじゃないですか

風間 手形押しただけやるー

土屋 でもちゃんとかわつてるとは確かです！

アルバムを見るうちに少しづつ笑顔にねる面々。

日下部だけは顔を伏せたままている。

風間 それから…

ページをめくる土屋。
そこには倒壊したマンサク荘の写真。

風間 あ…。

清水 …それが、君たちが暮らしたマンサク荘の最後の姿だよ。

風間 うそ…

土屋 これが…現実…

清水 ああ…僕も帰ってきて最初に見たときは嘘だって思ったよ。でも…これが現実なんだ。

沈黙が流れる。

森本、アルバムの次のページ以降をめくる

森本 これは？

清水 これは…がれき処理の前日だね。がれきの中に埋もれてしまった君たちの痕跡を探しているところだよ。

森本 なにかみつかった？

清水 ああ、君らが大事に保管してくれた家賃入りの缶ケースと写真、それから…折れずに残ってたマンサク。

森本 ちゃんと生き残ってたんだ。

庭いっぱい、がれきの山だったんだけどね。マンサクの植木鉢の周りだけは避ける様子が散らばってた…本当に奇跡だったよ。この木が残っていなかったら、僕はマンサク荘を立て直そうとは思わなかったかもしれない。マンサクが、もう一度この場所で生きたいって勇気づけてくれたんだ。

清水の話聞きながらアルバムをめくる森本。

がれきが撤去されて行く様子

更地になったマンサク荘

棟上げ式

完成した新しいマンサク荘。その脇には大きく育ったマンサクの木

日下部 そんなん…そんなん…信じ…

清水 マンサクの木は…もう苗木じゃないんだ。

日下部 …俺は…ほなら俺はどうしたらいいねん！

清水 勇…

日下部 中学生になって、学校いってもおもんないし、友達って呼べる様なやつもおらへんし！行きたくもない塾いけいけってうっさいからさぼってゲーセン行ってさ、そこで知り合ったおっさんにもらったタバコすすってたら、センコウに見つかってさ。親父に殴られて。おかんにも泣かれて…。姉貴はさっさと好きなやつ見つけて家でいてってのに俺はいつまでここにいなあかんねんって。俺もさっさと解放されたって思っつて。受験もすっぽかして、また殴られて、出て行けって言われて…ああほんならちようどいいわって家でて…それ以来会ってへんねんぞ！親父にもおか

んにも姉貴にも！
会ってどうするつもりなん？
森本 知らん。知らんけど…このまま終われっか？そんなん納得できる訳ないやん
日下部 ……家族に嫌われたままで…たぶんすぐに忘れられて…
久光 お母さん達は日下部さんのこと忘れてなんじゃないよ。
日下部 ……なんでお前にそんなん分かんねん！
久光 ……そ、それは…
清水 久光さんの言う通りだ。ご家族は君の事を忘れてなんていないよ。証拠だつてちやんとある。

清水、アルバムのページをめくる
お供えの花をもった夫婦と赤ちゃんを抱いた女性の写真。

日下部 これ…

清水 毎年、1月17日になると勇君のご両親がお花を持ってマンサク荘に来られるんだ。仏壇はおうちにあるけど、まだ息子はここにいる気がするからって。

日下部 え…

清水 でも、帰りたくなったらいつでも帰っておいでって。魂だけの姿になっても私たちはいつでも大歓迎だからって、毎年の様におっしゃるんだよ。

日下部 ……ほんまか？

清水 ……ほんまほんま。

日下部 ……俺は…帰れるんか？俺はあの家に帰ってもいいんか？

清水 帰る気になったらいつでもでていけばいい。入居当初からの約束だったよね。

日下部 ……アール…ごめんな…ありがとう…

森本、缶ケースの中から退去届けの紙を出して日下部に渡す

日下部 これって…

森本 退去届け。もう帰るんでしょ

日下部 ……ああ、せやな。

日下部、退去届けを書き始める
横にならんで森本も書き始める

風間 優香もでてくの？

森本 うん。

土屋 ……でて、どこにいくんですか？

森本 さあ…どこいこうかな。死んだことないからようわからへんけど、でもここにずっといても前に進めへんやろ。私らも、マンサク荘も。

清水 優香ちゃん。

森本 ……ん？

清水 ……大人になつたね。

森本 ……ほんまはね。ちょっとだけ心の準備はできてん。

清水 ……心の準備？

森本 ……うん。もしかしたらなにかおかしなことが起こってるのかなって気はしててん。

昨日の朝方…っていつてもたぶんほんとはずっと前の事なんやろうけど。トイレ
いきたくなつて起きてさ。廊下歩いてたら急にめまいみたいな感覚に襲われて、
しゃがみこんだら視界が真っ暗になつてな。気がついたらいつもの通り蒲団で寝
ててん。最初は夢やつたんかなあ…くらいにしか思つてなかつたんやけど、どう
もあの夢がずっと胸にひっかかつて。ゆっきーちゃんが少しずつなぞを解いて
くれる間にもしかしたらなにかが起こつてるのかもしれないへんってちよつと思つて
た。

清水 そうだったんだ…

森本 やつぱりちよつと怖いし、私もお母さん達のこと思うとつらいけど…でもアール
も前に進もうとがんばつてくれてるんやもん。私らもがんばらんとね！

土屋 そ、それはそうですね…

風間 …せやな。

風間も書き始める

土屋 え、ちよつと！僕一人にしないで下さいよ！

風間 え、なに、ついてくんの？

土屋 当たり前です！僕は風間さんのこと死ぬほど愛してますから！！

森本 うわー

風間 ごめん…死んでもいやや

森本 う、うわー…

土屋 いいんです！それでもついていきます！！

それぞれ、退去届けにサインして森本が集める。

森本 アール、今までお世話になりました。

清水 ああ…。でもやつぱりちよつと寂しいな

風間 なーに湿っぽい事いつてんねんな

土屋 そうですよ。僕らは僕らなりに前に進むんですから

風間 なにをかつこ良さげにいつてんねん

森本 ええやんか、前向きで。

土屋 そうですよ！なんか今、不思議に晴れやかな気持ちなんですから！

日下部 それは受験から解放されたからやろ

土屋 ち、違いますよ！！

一同、笑う

森本 それじゃ。

清水 ああ…あ、その前に！

森本 ？

清水 …撮れるかどうかかわかんないけど…写真撮らない？みんなでもカメラなんて持ってないでしょ

清水、ポケットからスマホを取り出す

清水　じゃじゃーん。

森本　なに？それ。

清水　え、あ、そうか。君らは知らないよね。スマホだよ。携帯電話の進化版。

森土風　ええー！！

風間　じゃあこれが例の？

久光　はい！

風間　うっそー！！写真も撮れるんだ。

清水　撮れるよー、それも割と高画質で。

土屋　株価とか見られるんですか！？

清水　ま、まあ見られるのは見られるけど…

風間　え、ちよつと貸して！

清水　あ、こちら。

森本　ボタンが一個しかないの？

清水　あ、画面を直に押すんだよ…

騒ぎつつ、外にでていく面々。

最後にでていこうとする日下部に声をかける久光

久光　あの、日下部さん！

日下部　ん？

久光　待ってますから。母も。おばあちゃんも。

日下部　…は？

風間　ほら、べつちも見てみ！これカロリー計算もできんで

日下部　はあ？別に興味ないし

風間に連れられる様にでていく日下部

日下部を見渡し、少し周りを見回してから久光の独白

久光

写真を撮ったあと、彼らは荷物ももたずに歩いて去って行きました。どこへ向かうのかもわからないまま、それでも笑顔で、しっかりと前をみて…遠く私たちの知らないところへと引越して行きました。彼らが去ってから私たちが戻った今のマンサク荘では、もう不思議なことは起こりませんでした。いや、起こったと言え…保管してあった缶ケースの中からこれが見つかったのと

久光、缶の中から全員のサインがかかれた退去届けを出す。

久光

清水さんのスマホの画像データがきちんと一件、増えていた事くらいでしょうか。彼らの「お引越し」から数週間後。さわやかな風が吹く3月おわりに、私のお引越しの日がやってきました。

舞台、現代のマンサク荘。

久光

清水さん！もうちよいです！がんばって！！

清水、大きな段ボール箱を抱えてはいつてくる…

清水 よいつ：しよ。ここでいい？
久光 とりあえずオツケです。それで最後ですか？
清水 うん、最後だと思う。
久光 ありがとうございます！じゃあ次はそれを2階に…
清水 ちよ、ちよっとまってちよっとまって…休憩。

寝転がる清水

久光 えー
清水 重いんだよ：一つの段ボールに荷物つめ過ぎ。
久光 引越しの節約ですよ
清水 業者にもたのんでないんだからもうちよっといくつかにわけたらいのに…ゆつきー、初日から管理人をこきつかいすぎだよ
久光 だって清水さんが手伝ってくれるっていうから
清水 だからって君んちから荷物の運搬までする管理人なかないよ
久光 感謝してます！
清水 なんかなりんちゃんに似てきたね
久光 あそこまでじゃないですよ！
清水 近いものはあるよ…まったたく…

久光 ふと庭をみる

久光 マンサク、ほんとに春に咲かないんですね。
清水 ん？うん。年が明けて「まず咲く」から「まず咲く」、「まんず咲く」、「マンサク」って名前に…
久光 それ、前にも聞きました。
清水 あれ、そうだっけ
久光 はい。でもちよっと期待してたのになあ…あつたかかったら間違つて咲くんじやないかなって。
清水 いやいや、あつたかいからって何でも咲く訳じゃないからね
久光 だって気になるじゃないですか。黄色い…びらびら…つてしたのが花なんでしょ？
清水 うん。
久光 そんなマニアックな花をわざわざ選んで植えるくらいだからさぞかし変わった人なのかなと思つたら一番まともだったじやないですか、森本さん。
清水 まああのメンツの中じゃあね。
久光 実はまともな感性でいえば「きれいー！」つて思える様なそれは立派な花なんじやないかって
清水 それじゃまるで僕がまともな感性じやないみたいじやないか
久光 違いますか？
清水 僕はまともだよ。この上なくまとも。それに、優香ちゃんがマンサクが好きなのはたしか花が綺麗だから…とかじやなかったはずだし。
久光 え、そうなんですか
清水 そうそう。たしか花言葉がなんとか…とか。

久光 花言葉？どんな言葉なんですか？

清水 ……忘れた。

久光 ええー！

清水 もう随分前に聞いたからねえ…ググっという

久光 ええーもう…

久光、携帯を取り出し、調べ始める

清水 いやーでもびっくりしたよー、君のお母さん。

久光 そんなにびっくりしました？

清水 そりやするよ！まさか、勇君のお姉さんだったなんて。

久光 確かになかなかない巡りあわせですよー

清水 ほんとだよ。勇君にあんなこと言ってたし

久光 あんなこと？

清水 「家族はあなたのこと忘れてませんよ」みたいな。

久光 ああ…ちよつとくさかったですかね？

清水 いやなかなかよかったと思うよ。

久光 私も日下部さんのフルネーム聞くまで分かんなかったんですけどね。

清水 むしろ名前聞いてよくわかったね。

久光 叔父さんの話は母やおじいちゃん、おばあちゃんからよく聞いてましたからね。

疾走して、ここに引き取られたって連絡を受けてからは一度も実家に顔を出さな

いまま震災にあつて…

清水 そうかあ。しつかしまあ…あの子の姪っ子がこんなにおおきくなるなんて…

久光 大きくもなりますよ。だってきっかり21年、ですから。

清水 きっかり？

久光 私、あの日…1995年1月17日に生まれたんです。

清水 ……えええ！！本当に？

久光 はい。だから誕生日の度に言われるんです。「あなたは勇おじちゃんの生まれ変わ

りかもしれないね」って。でも違いました。おじちゃんは、ずっとおじちゃんの時

を生き続けてたんですね。

清水 そうだね。

久光 そういえば！お母さんに清水さんとこのこと話したらすぐくびっくりしてま

した！

清水 そりやそうだろう！よく住むの許してもらえたよね、本当に…

久光 とっても喜んでましたよ。なにか運命が引き合わせたのかもしいねって。それ

に、あの管理人さんのところなら安心だねって。

清水 そうか…ならよかった…

しばらく沈黙

久光 あ

清水 ん？

久光 ありました！マンサクの花言葉！

清水 お、なにになに？

久光 えーと…ひらめき、直感、靈感。…靈感！？

清水 い、いや、さすがに好きなのはそれじゃないだろ

久光 じゃあ「ひらめき」ですか？「直感」？

清水 うんまあそれもわざわざ花言葉として好きなの？って感じだけど…でも靈感は…

玄関チャイムの音

清水 お？ちよつと待ってて…

出て行く清水

久光 靈感…ま、間違いないと言えばまちがいないけど…他にないのかな…

検索する久光

清水(声)え？入居ですか！はい、まだまだ絶賛承り中ですよ！とりあえず見学からとかどう
すか？別に今すぐにも…

久光 …あ！もしかして…これ！？清水さん！

清水 ゆっきー！

久光が顔を出そうとしたのと同時に清水、顔を出す

久・清 うわあ！

清水 びっくりしたあ

久光 こ、こっちの台詞ですよ。どうしたんですか？

清水 あー、そうそう、入居希望の人が来たんだけど、今から中見てもらっていい？

久光 ええ！？ちよ、ちよつと待って下さい！まだ荷物ぐちゃぐちゃだから…

清水 大丈夫、ゆっきーの部屋には入れないから！

久光 えええ！と、とりあえずじゃあこの荷物を上に…重っ！

清水 ね、重いでしょ！！

久光 これちよつと私じゃ無理です。清水さんあげてください！

清水 えええー！

久光 あげてくれなきや見学してもらつちやダメです！

清水 仕方ないなあ…(外に) あ、すみません！ちよつとだけまってもらえますか？…よ
いっしょ！

清水、2階に荷物をもってあがろうとする

久光 あ、そーいや清水さん！

清水 なに？

久光 …いや、あとでいいです。それより急いで急いで！

清水 もう、誰のせいだと思ってるんだよ…

久光 誰のせいでしょう！

二人言い合いながら二階に上がって行く

しばらくして、エンドロールと写真スライド

劇中につかった写真

清水のバンジョーケース(中に書類やアルバム、マンサクの花のしおりが入っている様子)

スライド文字

「マンサクの花言葉」

「ひらめき」「直感」「靈感」

「幸福の再来」

全員でマンサク荘の前でとった写真が写り F.O.

了